

Newシルキーパレット

なでしこ仕上げ

施工の手引き

平成20年8月作成

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー 技術部
建設樹脂グループ

目次

Newシルキーパレット20シリーズ

使用材料 3ページ

施工方法 4ページ

Newシルキーパレット25シリーズ

使用材料 5ページ

施工方法 6ページ

Newシルキーパレット55シリーズ

使用材料 7ページ

施工方法 8ページ

共通)

適用下地 9ページ

主な施工道具 9ページ

施工のポイント 10～11ページ

施工の注意事項 12ページ

不燃仕様の対象パターンについて 12ページ

Newシルキーパレット20シリーズ

<使用材料>

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
主 材	Newシルキーパレット JQ - 20シリーズ 標準色 JQ - 20T (...1000 ~ 2999) 特注色 JQ - 20T (...3000 ~ 6999) 又は JQ - 20 (...英字 , ...数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg ^ℓ -缶	約8㎡/缶
骨材	JF - 1	寒水石(白竜)1厘	(20kg袋入	約60㎡)

Newシルキーパレット20シリーズ

<なでしこ仕上げ施工方法>

1. 主材 下塗り

配 合	JQ - 20シリーズ	20 kg
	清 水	1 ~ 2 割
塗 布 量	約0.9 kg / m ²	
使用ガン	リシンガン口径	4 ~ 6 mm

左官業者の場合は、JQ - 20を0.9 kg / m²となるようステンレスゴテにて平滑に塗布する。
(下ごすり)

夏期 4時間以上
冬期 12時間以上
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

2. 主材 配り塗り

配 合	JQ - 20シリーズ	20 kg
	寒水石 1厘	4 kg
	清 水	1 ~ 2 割

< 塗装業者の場合 >
・ マスチックローラーにてJQ - 20が約2 kg / m²となるよう、上下・左右にローラーを転がし、均一に配り塗りする。(ムラ切り)

< 左官業者の場合 >
・ ステンレスゴテにてJQ - 20が約2 kg / m²となるよう均一に配り塗りする。

追いかけ (5分以内)

3. パターン付け

・ あらかじめ水に浸して絞り湿らせた中毛ウールローラーJR - 61にJQ - 20を含ませる。次に配り塗りしたJQ - 20が乾燥しないうちに、中毛ウールローラーJR - 61で弧を描く様にランダムにパターン付けをする。(図 - 1)

Newシルキーパレット25シリーズ

<使用材料>

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
主 材	Newシルキーパレット JQ - 25シリーズ 標準色 JQ - 25T (...1000 ~ 2999) 特注色 JQ - 25T (...3000 ~ 6999) 又は JQ - 25 (...英字 , ...数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg ^缶 - 缶	約 8 m ² / 缶
骨材	JF - 1	寒水石 (白竜) 1厘	(20kg 袋入	約 60 m ²)

Newシルキーパレット25シリーズ

<なでしこ仕上げ施工方法>

1. 主材 下塗り

配 合	JQ - 25シリーズ	20 kg
	清 水	1 ~ 2 割
塗 布 量	約 0.9 kg / m ²	
使用ガン	リシンガン口径	4 ~ 6 mm

左官業者の場合は、JQ - 20を0.9 kg / m²となるようステンレスゴテにて平滑に塗布する。
(下ごすり)

夏期 4時間以上
冬期 12時間以上
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

2. 主材 配り塗り

配 合	JQ - 25シリーズ	20 kg
	寒水石 1厘	4 kg
	清 水	1 ~ 2 割

< 塗装業者の場合 >
・ マスチックローラーにてJQ - 25が約2 kg / m²となるよう、上下・左右にローラーを転がし、均一に配り塗りする。(ムラ切り)

< 左官業者の場合 >
・ ステンレスゴテにてJQ - 25が約2 kg / m²となるよう均一に配り塗りする。

追いかけ (5分以内)

3. パターン付け

・ あらかじめ水に浸して絞り湿らせた中毛ウールローラー JR - 61にJQ - 25を含ませる。次に配り塗りしたJQ - 25が乾燥しないうちに、中毛ウールローラー JR - 61で弧を描く様にランダムにパターン付けをする。(図 - 1)

Newシルキーパレット55シリーズ

<使用材料>

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
主 材	Newシルキーパレット JQ - 55シリーズ 標準色 JQ - 55T (...1000 ~ 2999) 特注色 JQ - 55T (...3000 ~ 6999) 又は JQ - 55 (...英字 , ...数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg ^缶 - 缶	約 8 m ² / 缶
骨材	JF - 1	寒水石(白竜)1厘	(20kg 袋入	約 60 m ²)

Newシルキーパレット55シリーズ

<なでしこ仕上げ施工方法>

1. 主材 下塗り

配 合	JQ - 55シリーズ	20 kg
塗布量	約0.9 kg / m ²	
使用ガン	リシンガン口径	4 ~ 6 mm

左官業者の場合は、JQ - 20を0.9 kg / m²となるようステンレスゴテにて平滑に塗布する。
(下ごすり)

夏期 4時間以上
冬期 12時間以上
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

2. 主材 配り塗り

配 合	JQ - 55シリーズ	20 kg
	寒水石 1厘	4 kg
	清 水	1 ~ 2 割

<塗装業者の場合>
・ マスチックローラーにてJQ - 55が約2 kg / m²となるよう、上下・左右にローラーを転がし、均一に配り塗りする。(ムラ切り)

<左官業者の場合>
・ ステンレスゴテにてJQ - 55が約2 kg / m²となるよう均一に配り塗りする。

追いかけ(5分以内)

3. パターン付け

・ あらかじめ水に浸して絞り湿らせた中毛ウールローラーJR - 61にJQ - 55を含ませる。次に配り塗りしたJQ - 55が乾燥しないうちに、中毛ウールローラーJR - 61で弧を描く様にランダムにパターン付けをする。(図 - 1)

<適用下地>

- ・石膏ボード等

下地によりシーラーを選定し、使用してください。

例) 合板の場合：アク止めシーラーJS - 90

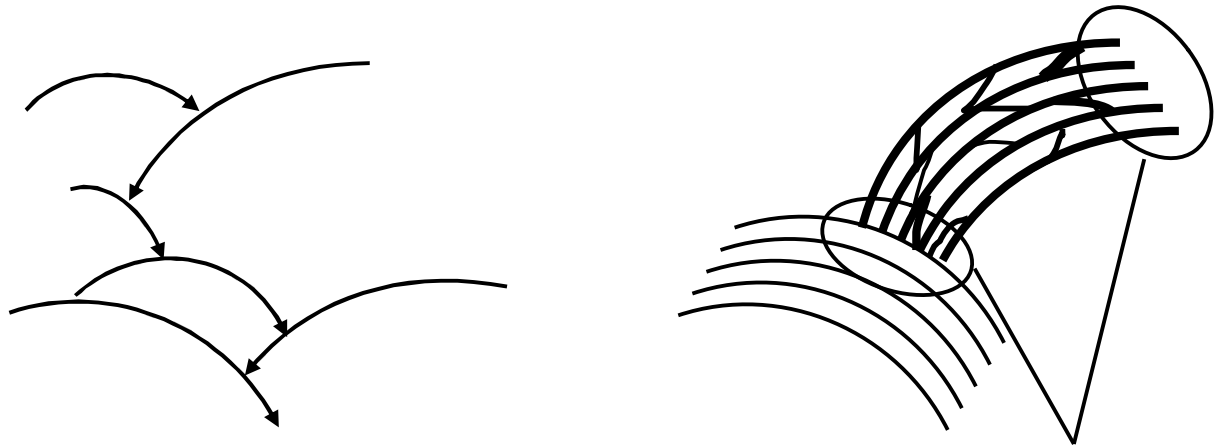
<主な施工道具>

- ・リシガン(口径 4～6mm)
- ・マスチックローラー(ジョリパットローラーJR - 20 : 9インチ)
又は、ステンレスゴテ
- ・中毛ウールローラー(ジョリパットローラーJR - 61 : 7インチ)
- ・コンプレッサー(3馬力以上：1台使用の場合)

下塗りを塗装ガンにて吹き付けで施工する場合。

<施工のポイント>

- ・ パターンの端が重なるように施工して下さい。



ローラーの動きの一例

この部分のパターン
重なるようにパターン
付けを行う。

図 - 1

- ・ 中毛ウールローラーJR - 61があまり回転しないようにして線を出す。ローラーを引きずるような感覚でパターンを付ける。
- ・ なでしこのパターン付けは、大きい弓状模様と小さい弓状模様がたくさん重なりあうように組み合わせる。
- ・ 中毛ウールローラーJR - 61は常に上から下方向に転がし、弓状模様をランダムに付ける。(矢印の動き)
- ・ パターンが規則正しくならないよう注意する。(図 - 2)

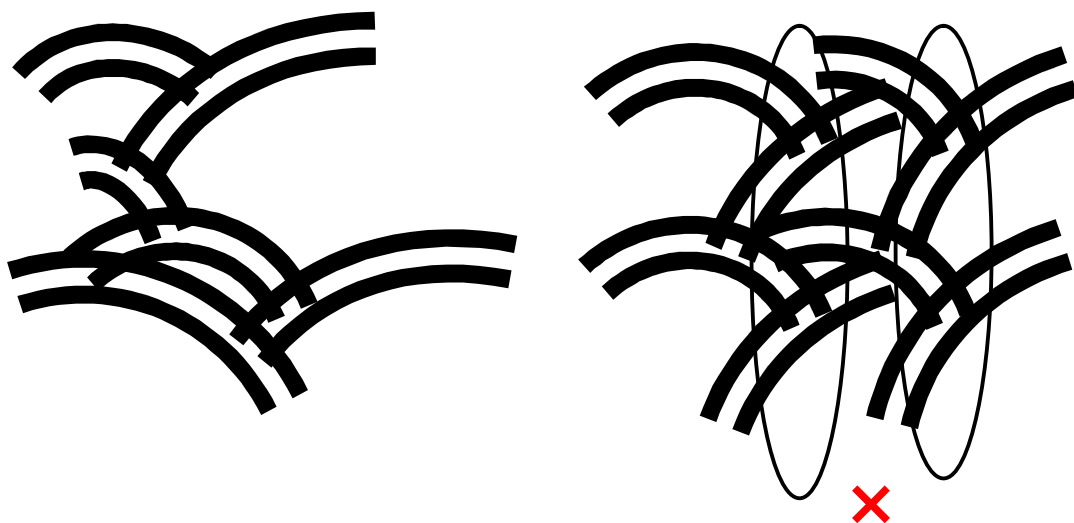
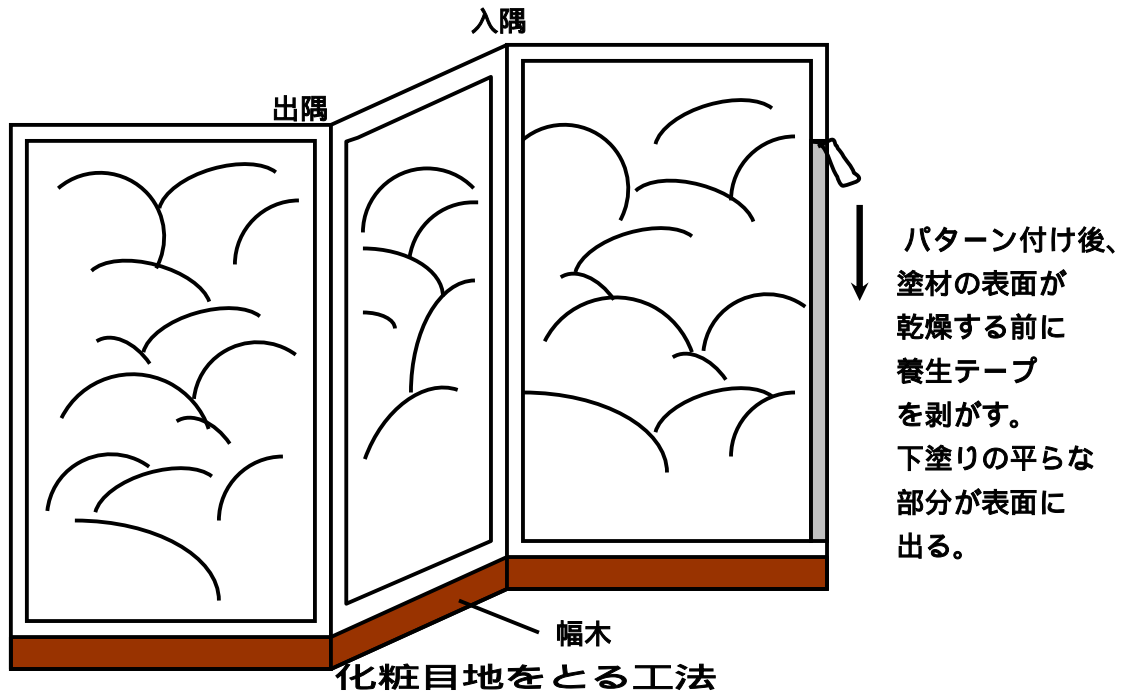


図 - 2

入り隅、出隅の処理方法

- ・ 入り隅や出隅、幅木のちりは、化粧目地をとるか（図 3）
塗材が乾燥する前に水を浸した刷毛（平刷毛など）で押さえる。
（図 - 4）



塗材を下塗りし、完全に乾燥した後、養生テープを貼り、化粧目地をとる。

図 - 3

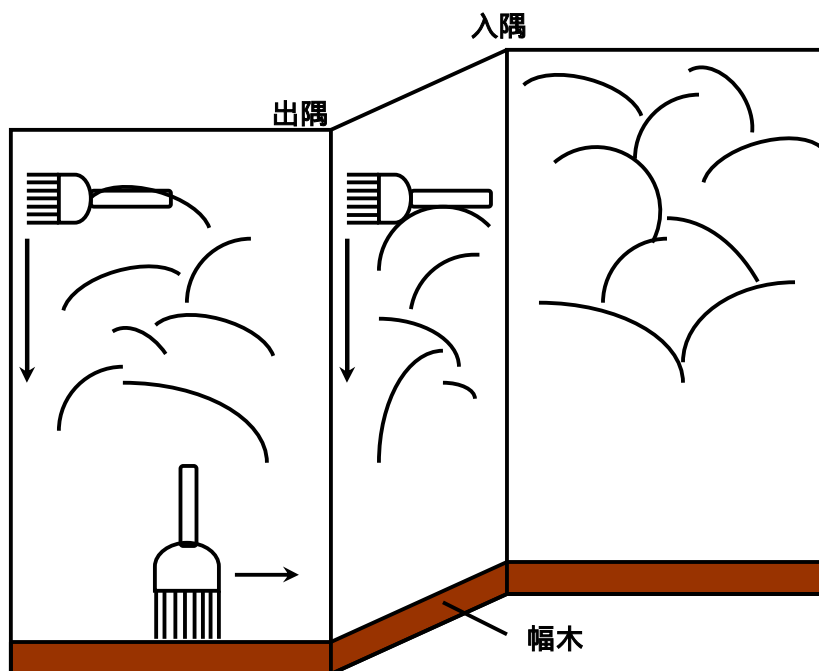


図 - 4

< 施工の注意事項 >

- ・ 配り塗りはできるだけ均一にする。
(パターンを均一にする為)
- ・ 塗布量が少ないとパターンが出ない場合があります。
- ・ 中毛ウールローラーJR - 61 (パターンローラー) にも塗材を充分含ませる。
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
(特に外装の大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ 入隅は塗布量が多くなるよう注意して下さい。塗布量が多い場合、クラックが発生しやすくなります。
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。

< 不燃仕様の対象パターンについて >

不燃仕様の対象パターンには、マイルドプaster、マイルドプasterランダム、シンフォニー、ウォーターフォール、細流、ニューアージュ、乱流、乱流2色、ゆず肌があります。
なでしこは、不燃仕様の対象パターンではありません。

以 上